

# 躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人  
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保 文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



## 谷口雅春先生の御志を受け継ぎ、人類光明化の使命に邁進しよう!!

### 《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

既に幸福なる

自己の「実相」を自覚せよ

今既に幸福であり健康である自分の「実相」と、心の波の演ずる所作事(仮相又は夢)に過ぎないところの「病氣」とを切り離して、自分の健康な実相を観ることが必要である。

しかし、夢の中には夢の法則がある。その夢の中の法則に従って、仮相なる病氣が、仮りに治った相を現すこともあり得るのである。即ち、現象世界の法則で、薬剤や注射によって、その現象の肉体が健康になるが如きはそれである。それに対して何ら反対する理由はないのである。

併し、それは「病氣」の夢から「健康」の夢に移るに過ぎない。真の健康は、健康を夢みることではなくて、最初から健康なる「神の子・人間」の実相を自覚して、その自覚の表現として健康なる自己が顕れる事である。

(新装新版『真理』第8巻304頁)

今こそ真理を多くの人々に伝え、

日本人の心を浄め

国を盤石ならしめよう!!

副理事長 岡村佳明

今年一月に米国ではトランプ政権が発足し、世界は今、大きな変革期を迎えています。米国が仲介して、些か強引とも思える手法でウクライナ戦争を終結させようとしています。これは米国の真の敵は、米国に取って代わり世界の覇権を握ろうとする中国であり、それに対抗するため米国のリソースの全てを対中国にシフトさせ、更にロシアを中国から引き離そうという冷徹な戦略に基づくものに他なりません。

また、トランプ政権は戦後八十年間、米国が中心となって創ってきた国連中心の国際秩序が制度疲労を起こしているとのみならず、世界保健機関をはじめとする特定の国際組織から離脱し、資金拠出を停止するなど、自らがこれを壊して新しい世界秩序を構築しようとしています。

このような大激動の渦中であって、私達は真に日本人としての自覚と誇りを取り戻し、自らの国は自ら守るという覚悟を持ち、自立した日本を創らなければなりません。



絶版になっている『私の日本憲法論』『我ら日本人として』

その精神的基盤となるのが御皇室を仰ぎ、神仏を敬い、祖先を大切に、国を愛してきた純粋な日本人としての心です。

しかるに今日、夫婦別姓が議論されていますが、これは夫婦のみならず、その子供達が親との別姓を強いられ、さらには兄弟姉妹が互いに別姓を名乗ることに繋がり、家族の一体感は完全に喪失させられます。文化・伝統を継承して日本人としての心を自然に育んできた基本単位である家庭を根本的に破壊するものです。今日の激動の時代であって、日本の国を存立させる精神的基盤を内部から蝕み、崩壊させる策謀と言えます。

尊師谷口雅春先生は、ご著書『私の日本憲法論』の中で、『日本は今開闢以来の危機に直面している。(中略)最も重大なるものは、日本人であるところの、「日本に生れた人間」の内部にある理想(これこそ本当の日本の国であり、「日本的なもの」である)が崩壊すると云うことである。それが崩壊したとき、真に日本は、形の上でも魂の上でも滅びたと云うことになる。』と、鋭く危機の本質を御指摘下さっています。

さらに同じく『我ら日本人として』のほしがきで、『私はこの戀人の熱情のように日本國を愛し、どんなにまだ現實が「まだ愛するに足りなく」とも、その熱情の焰をもって、現實の醜さを焼きつくして、日本國を理想の美しさにまで變貌せんとするものである。私は日本を愛している間が幸福であり、魂が孤獨でないのである。』とお説き下さっています。

世界の大激動と未曾有の国難の今こそ、私達はこの尊師のお言葉を深く噛みしめ、祈りを深め、愛を尽くして、ともに日本のために立ち上がってまいらうではありませんか!

# 「谷口雅春先生報恩全国練成会」で心を浄め 魂の喜びあふれる幸福生活へ前進しよう!!

皆様ご存知のように、「谷口雅春先生報恩全国練成会」には、全国各地から毎回百名を超える参加者があり、「癌が消えました」「脳梗塞や鬱病が癒え、地獄の日々が幸せの日々に変わりました」等、神癒の体験が続々とまわっています。

このような体験や奇蹟が生まれる理由について、谷口雅春先生は次のようにご教示くださっています。

《生長の家の練成会は、「心の訓練」によって健康を増進し、運命を好転し、事業を繁栄に導き、家庭に調和を実現するための「練成」を目的とするのであるけれども、「笑いの練習」という表情を明るくする練習があるのである。

「明るい表情」「ニコヤカなる微笑」「憂鬱を吹きとばす哄笑」というものは、肉体的表情の訓練であるけれども、「類は類を引き寄せる」という法則によって、その人に明るい運命を引き寄せることになるのである。…(中略)…

生長の家の練成会で「浄心行」の修行の終末に近づいたとき「お父さん、お母さん、ありがとうございます」の感謝の



潜在意識の奥底まで浄められる「浄心行」

言葉を繰返しとなえる誦行があるのだが、この修行中、「言葉の力」と「群衆心理の力」との併合で、本心に両親に感謝する心が沸々と起って来、今まで親不孝の思いを起していたことが

自然に詫びられて来て、懺悔の涙が湧き起って、咽び泣き、すすり泣きする人たちが道場の諸方に出て来るのである。こうして潜在意識の中にある「迷いの心」が涙と共に浄化排泄されて病気が忽然と消えるような奇蹟も起って来るのである」(『白鳥』誌・昭和49年新年号)

練成会の特長は、真理講話とともに、「先祖供養」「浄心行」「祈り合いの神想観」「笑いの練習」等の宗教行を、二泊三日で集中して実修するところにあります。

正しい生長の家の御教えが説かれる唯一の練成会である本練成会は、谷口雅春先生のご指導通りの宗教行、『生命の真相』を中心に聖典テキストを使っての真理講話、最高の講師陣による個人指導等、神癒のプログラムで構成されています。

本年6月17日は、谷口雅春先生がご昇天されて四十年にあたります。節目の年のご昇天月に開催される「第11回谷口雅春先生報恩全国練成会」には、「谷口雅春先生御座しませばこそ」との報恩感謝の思いを新たにして、全国の都道府県から誘い合って大勢でご参加ください。

**谷口雅春先生ご昇天四十年  
第11回報恩全国練成会** (東京都国立市)  
令和7年6月6日(金)〜8日(日)  
最高の講師が勢揃い。是非ご参加を!!  
《ゲスト講師》安東巖先生・井手本昌久先生  
《講師》久保文剛・熊本司・上野耕治  
國弘昭義・岡村佳明・木下千鶴子・井関隆文

**第1回近畿ブロック練成会** (兵庫県神戸市)  
令和7年7月4日(金)〜6日(日)

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

## 感謝の先祖供養

### 必ず幸せになる「霊牌供養」に励みましよう

生長の家独特のお祀りである「霊牌供養」は、「霊牌」という所定の用紙に、親族や縁ある方々の霊 あるいは流産児、さらには〇〇家先祖代々の霊の名前を書き、聖経「甘露の法雨」の真理の光でお包みするみまつりです。これによって、癌や脳腫瘍等の原因不明の病気が治った体験、商売が繁盛した体験、子供が素晴らしくなった体験、家庭が調和した体験、事故からまぬかれた体験等数限りなくあります。

霊牌をご先祖様への感謝のハガキと考えて、「谷口雅春先生報恩全国練成道場」で毎月行われている先祖供養祭にご奉納ください。

#### 先祖も自分も救われる

##### 聖経『甘露の法雨』 読誦

熊本 司(第10回)

私が飛田給練成道場に奉職していた50歳の頃のことです。少し風邪気味になり、咳も止まず熱が続いていたため、近くの病院に行きました。レントゲンを撮ってもらったところ、その医者は画像を見ながら、「貴方の肺は真っ白ですよ。ご覧なさい、断面にブツブツ穴が空いてるでしょう。これが病巣ですよ」と、事細かく説明してくれました。私はその医者に「肺癌ですか」と尋ねたのですが、ハッキリとは答えてくれませんでした。

私はいつも仏前で聖経読誦をしていましたので、その日も病院から帰って聖経『続々甘露の法雨』を読みました。そこには私のこの病気に對する答えが書かれていました。「肺臓に空洞を生ずれば生命はみずから新しく肺臓の組織を造るを得」。この真理のご文章を読誦した瞬間、「ああ、これで私は救われた。私の肺の病気が治った」と確信しました。

そして数日して同じ病院へ行行って、再びレントゲン写真を撮ってもらいま

すと、その医者から「不思議ですね。この間の病巣の穴が随分小さくなってますよ。すぐには入院しなくても大丈夫ですよ」と言われました。

その後数回病院に通いましたが、その肺病から完全に私は解放されました。「肺臓に空洞を生ずれば生命はみずから新しく肺臓の組織を造るを得」。この真理の一言と、仏前での常日頃の聖経読誦によって、私は救われたのでした。

谷口雅春先生は、「祖先をお祀りしてあるお仏壇の前で、毎朝とか毎晩とか時間を決めて、『甘露の法雨』を祖先の霊供養、霊に對する供養のつもりでお読みになると、祖先の霊が救われ、自分もまた救われるということになるわけでありませぬ」(『神性開発・完全健康の原理』294頁)とお諭しくださっています。

私達は毎日仏前でご先祖様に感謝の聖経読誦を行うとともに、谷口雅春先生報恩全国練成道場で行われている「先祖供養祭」に合わせ、毎月感謝の霊牌を奉納しましょう。

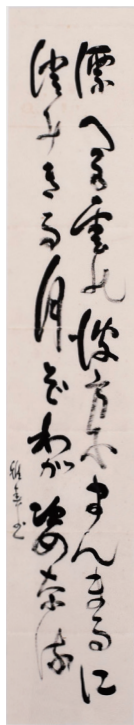


全国練成道場における先祖供養祭

# 谷口雅春先生の「御揮毫」が寄贈されました

この度、元生長の家ハワイ教化総長の仙頭泰様(慧照)より、ご自身が所有されていた谷口雅春先生の貴重な「御揮毫」の寄贈がありました。心より感謝御礼申し上げます。谷口雅春先生は、「明窓浄机」昭和31年2月号の「揮毫、執筆……近頃想うことども」と題する御文章の中で、御揮毫される時の様子を次のように述べておられます。「一日に大体平均百七十枚は書くのである。…一分間の休みもなく…私は正味二時間にわたって、間断なく、前屈みで左の手で体の重を支えながら、筆を走らすのである。大分、重労働である。…二時間一分間の休憩もなくこの行持をつづけますと、書き終ったあとの二時間位は力が全部出たようだったのでボンヤリしています。」

谷口雅春先生の渾身のいのちが込められた「御揮毫」の一部を、ここに謹んで引用し掲載させていただきます。(続きは次号以降に掲載予定です)



漂へる雲の彼方にまんまるに澄みきる月ぞわが姿なる

このお言葉は、新編『生命の實相』第34巻「聖語篇」3頁に掲載されている「智慧の言葉」の一つです。

「雲が暗澹とたれ込めて、月に叢雲がかかっているように見えていたとしても、お月様のほんとうの相はまんまるで玲瓏と明るく輝いている。それと同じように人間も、病気や不幸や貧乏が現れていたとしても、それは月に雲がかかって不完全に見えるのと同じようなもので、私たちの生命のほんとうの相は完全円満玲瓏なるものである」ということを、谷口雅春先生がお歌に詠まれたものです。



唯一神

新装新版『真理』第1巻326頁に、唯一神とは「天地をつくったただ一つの神」とあり、次のように書かれています。「唯一神以外に如何なる権威者も存在しない。吾々が神想観をして、唯一神とのみの対面を志しているとき、叢雲の如くその存在を主張して浮び上って来るところの雑念はすべて、唯一神以外に「吾れあり」と呼号する(けいご)雑神(ざくしん)のようなものです。…祈りの最中に、色々「病氣」や「不幸」を考えるのは可けません。…ただ、只管、神のみ、善のみを、心の内室に想い浮べるが好いのであります。」

このご教示にあるとおり、唯一神すなわち宇宙の創造者であり、ただ善のみの創造者であり、如何なる悪も創造し給わない神を心に描きましょう。

# 児童養護施設「生長の家神の国寮」卒業、入学、進学おめでとう!!

3月15日、毎年恒例の年度末の、卒業・進級・進学・就職をお祝いする会を施設全体で開催しました。「晴のつどい」と書いて、『はるのつどい』と呼び、皆の新たな門出をお祝いする会です。

今年度の主役は13名、その中には施設を退所していく子ども達も数名おり、感慨深いものがありました。

施設長のはじまりの言葉から始まり、3名の新任職員紹介、乾杯と続き、お待ちかねのホーム児童・職員による出し物。各ホーム、ホームのカラーや個性を最大限発揮し、そのホームらしい素敵なし出し物で、見ている職員は子どもたちの成長に感動でした。今日この日までに、毎日ダンスや歌の練習に励んできた成果が発揮された瞬間でした。

プレゼント贈呈では、担当職員から子どもへの一言と、その後に子どもからみんなへの一言。子どもからの、お世話になった職員への感謝の言葉に、職員たちは号泣でした。こちらこそ、ありがとうございます!!

その後は、主役13人のこれまでの成長ムービーの上映で職員は涙涙になってしまします。小さいころのあどけない表情に職員からは「かわいい!」「わ」と歓声が起こります。最後は、職員からの合唱の贈り物。今年も「愛は勝つ」を職員で熱唱しました。子ども達は真剣なまなざしで職員の歌う姿に、涙をこぼす子どもたちもいました。

新たな来年度のスタートを職員一同、応援しています!! みんな自分らしく希望に満ちた門出となりますように!!



子どもたちのソーラン節 迫力ある踊りでした!



職員全員による「愛は勝つ」の合唱!

## 今春、社会人となるA君が 十年以上続けてきたこと

4歳で入寮したA君。努力家で何事にも一所懸命取り組む青年となり、この春社会人になります。神の国寮ですつと続けてきたことがあります。それは絵画を描くこと。素敵なお作品ばかりです。

一つのことを十年以上も続けることはとてもすごいこと。『継続は力なり』という言葉もありますが、きつとこの経験はA君のこれからの人生の糧となり、更に素晴らしい作品を生み出していくことでしょう。(生長の家 神の国寮施設長 國弘昭義)



A君の作品 「桜見の五重塔」



「陽光がささえるオウム」

「生長の家神の国寮」は、谷口雅春先生のご大愛によって昭和20年9月、焼け野が原となった東京・赤坂の地に創設され、爾来八十年近くに亘って薄幸の子供達を養護・養育し社会に送り出してきました。当施設には現在48名が入所しています。

【税務上の特典】生長の家社会事業団への寄付は、税制上の優遇措置（税額控除等）の対象となります。

五つの事業を支える奉読者643名御芳名

これまでご献資くださった方々の御芳名を謹んで掲載し、深甚の感謝を捧げさせていただきます。

生長の家のみ教えを正しく護り伝えるために！！

1口33万円の特別献資に

ご協力ください！！（分割も可）

＜当事業団が行っている五つの創立記念事業＞

- ① 聖典『生命の真相』、聖經『甘露の法雨』を永遠に護り抜く
- ② 谷口雅春先生報恩全国練成会の開催
- ③ 「生長の家教義」研修講座と青少年練成会の全国展開
- ④ 「児童養護施設生長の家神の国寮」の運営
- ⑤ 「谷口雅春先生記念図書資料館」の充実拡大

— これらの事業は皆様の尊いご献資で支えられています —

今から79年前の昭和20年、敗戦によって希望を失った国民に対し、谷口雅春先生は日本再建のための一大政策「生長の家社会事業団の設立」を発表されました。それは立教以来の個人の魂の救済、病気の神癒、人生の苦難の解決という個の救済運動とともに、それを超えて国家救済、世界救済をめざすという一大構想でした。

そして、これら施策の遂行をなすとげるため谷口雅春先生は、聖典『生命の真相』、聖經『甘露の法雨』等の著作権を「生長の家社会事業団」へ基本財産として寄付されたのです。

このことは聖典『生命の真相』、聖經『甘露の法雨』に基づく正しい生長の家教義の久遠の護持とその普及を当法人に託されたことを意味します。

私達、生長の家社会事業団は、この谷口雅春先生の教えと願いを大きく発展させ、正しい「生長の家」を次世代につなぐため、皆様に「寄付の協力を仰ぐ次第です。」

（同封のご寄付の申込用紙をご参照ください）

「谷口雅春先生記念図書資料館」行事案内

◆ 神示祭 11時～ 屋上の「龍宮住吉本宮社殿」にて  
5月5日、6日、27日、30日、6月26日

◆ 『真理』勉強会  
5月10日(土)、6月14日(土) 13時半～15時半  
指導：熊本司講師（元本部講師）  
※ト：新装新版『真理』第6・7巻



◆ 新編『生命の真相』輪読会  
5月22日(木)、6月22日(日) 13時半～15時半  
指導：久保文剛講師（理事長）  
新編第17巻（頭注版第9・10巻）霊界篇



◆ 定期一般開館日  
5月8日・15日、6月12日・26日  
（原則第1・3木曜日 11時～15時）

所在地：東京都国立市  
富士見台 3-31-14  
最寄駅：JR 南武線  
矢川駅（徒歩3分）

読者の皆様から寄せられた「よろこびの声」

○ 肋骨7本骨折、血胸、脳内出血の大怪我也  
「神癒・聖經供養」により快癒（70代・女性）

昨年11月、主人が高い所の物を取ろうとして椅子の上に入った途端に転倒し、左の肋骨6本、右の肋骨1本を骨折して血胸（胸腔内に血液が溜まる状態）を発症しました。脳内出血も起こして脳外科に入院となりました。どうなることかと思いましたが、「神癒・聖經供養」祈願を申し込みましたところ、順調に回復して20日間で退院できました。「神癒・聖經供養」のお陰で大安心の聖經読誦ができたこと、そして普段からの先祖供養の大切さ、ご先祖様のご加護に感謝しております。

○ 学ぶ会、社会事業団、両方の聖使命会員に！（80代・女性）  
平成27年に教団を退会して以来、谷口雅春先生を学ぶ会の「聖使命菩薩会」に入会していたのでこれで良いと思っていたのですが、3月号の機関紙を読んで何となく社会事業団の方へも入会したくなりました。それで事業団に電話したら、「私も両方入ってますよ」との回答。これを聞いて生長の家社会事業団の「聖使命奉讃会」にも入会させて頂くことにしました。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う  
「神癒・聖經供養」祈願（奉納金）  
問題解決、神癒の体験続々と！

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く  
「聖使命奉讃会」（月額一口1,000円）  
にご家族と一緒にご入会ください。

生長の家社会事業団公式HPのご案内  
スマートフォンをかざして下のQRコードを読み取っていただきますと、生長の家社会事業団の公式ホームページが表示されます。本機関紙のバックナンバー、主催行事・後援行事のご案内、情報公開等を掲載しています。どうぞご覧ください。



5月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(木)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
5(月)	無限供給の神示祭 児童教育に関する神示祭	11時～	社殿
6(火)	新天新地の神示祭	11時～	社殿
10(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13時半～	図書館
22(木)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の真相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
25(日)	物語者 顕彰慰霊 先祖供養祭	11時～	道場
27(火)	久遠天上理想国実現の神示祭	11時～	社殿
30(金)	心の法則、と平和への道の神示祭	11時～	社殿

6月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(日)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
6(金) 8(日)	第11回谷口雅春先生報恩 全国練成会	開会12:40 閉会15:30	道場
14(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13時半～	図書館
17(火)	谷口雅春先生四十年祭	11時～	道場
22(日)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の真相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
26(木)	歸幽の神示祭	11時～	社殿

（6月の先祖供養祭は6月6日、練成会の中で行います）

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しいみ教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

実力が出来たとき、実力で恩を返す。実力がまだ備わらないとき、感謝の心で恩を返す。実力が出来たときに恩人がもう地上にいないとしたら、国のため世のためにつくすことによって恩を返すが好い。自他は一体だから。（新編『生命の真相』第60巻 幸福篇 54頁）